

Title	昭和三十六年度彙報
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1962
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.1 (1962.) ,p.371- 374
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000001-0371

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

昭和三十六年度 彙報

昭和十三年に麻生太賀吉氏の寄附により福岡市に設立された、東洋文化の研究所たる旧財団法人斯道文庫の蔵書七万冊が去る卅三年本塾創立百年を祝して寄贈された。本塾としては麻生氏の御厚意に対し、同文庫の研究事業を継紹するに適

わしい研究機関の新設を計画し、ここに東洋古典の調査研究を目的とする、大学附属研究所「慶応義塾大学斯道文庫」を卅五年十二月一日附を以て創設するに至つた。

慶応義塾大学斯道文庫規程

昭和三十五年十一月二十一日制定、同十二月一日施行、同三十六年十一月十五日改正

第一章 総 則

第一条 慶応義塾大学に慶応義塾大学斯道文庫を置く。

第二条 文庫は日本及び東洋の古典に関する資料の蒐集保管並びにその調査研

究を行うことをもつて目的とし、この目的を達成する為に必要と認めた事業を行う。

第二章 職 制

第三条 文庫に次の教職員を置く。

文庫長 一 名

文庫員 若干名

主 事 一 名

書記（事務職員・技術職員）若干名

第四条 文庫長は文庫の諸務を総理し、文庫を代表する。

文庫長は文庫委員会の推薦に基づき、塾長が任命する。

文庫長の任期は二年とし、再任を妨げない。

文庫長が任期中に辞任したときは、後任者の任期は前任者の残存期間とする。

第五条 文庫員は専任と兼任とからなら

り文庫長の命を受け、資料の蒐集整理並びに研究調査の職務に携わる。

文庫員は研究調査の題目を定め、毎年少くとも一回以上文庫長にその報告を提出するものとする。

文庫員の任免は文庫長の申請に基づき塾長が行う。但し、専任文庫員は前も

つて大学評議会の議を経て、本塾大学教授、助教、講師、助手に任ずる。

第六条 主事は文庫長を補佐し、その指揮を受け、諸般の事務を処理する。

主事は、文庫長の申請に基づき、塾長が任免する。

第七条 書記は文庫の運営に関する諸般の事務に従事する。

その任免は文庫長の申請により、塾長が行う。

第八条 文庫の事業の必要に応じ、研究嘱託、事務嘱託を置くことができる。

その任免は文庫長の申請に基づき、塾長が行う。

第三章 斯道文庫委員会

第九条 文庫に斯道文庫委員会を置く。

第十条 本委員会は、塾長が委嘱する本塾教授若干名と、本塾図書館長、文学部長、文庫長及び文庫専任教授とによつて構成される。

第十一条 委員会は文庫長が招集し、文庫の人事、経理、その他文庫運営に關する重要事項を審議する。

第四章 斯道文庫賛助員会

第十二条 文庫に斯道文庫賛助員会を置く。

賛助員会は毎年一回以上開催し、文庫の事業報告を受け、文庫の経営を後援するものとする。

第十三条 賛助員は、文庫の事業を援助する者のうちから、塾長が委嘱する。

第五章 経 理

第十四条 文庫の経費は、慶応義塾の経費、寄附金その他の収入をもつてこれに充てる。

第六章 規程変更

第十五条 本規程の変更は、文庫委員会の発議に基づき、塾長が大学評議会の議を経て、塾長が行う。

附 則

本規程は昭和三十五年十二月一日から施行する。

本規程の施行に關する細則は別に定める。

人 事

昭和卅五年十二月一日から同卅六年四月一日の間に、本文庫教職員並に文庫委員会委員が左の如く任命された。

文庫長	(兼任) 教授	松本 芳夫
主 事	(兼任) 阿部 隆一	
文庫員	助教授	阿部 隆一
	講師	阿部 隆一
	同	太田 次男
	同	松本 隆信
	助手	平沢 五郎
	書記	山田 正子
職 員	同	井上善一朗
	同	山里 石峰
用務員	小牧 宗司	
文庫委員会委員	松本芳夫・前原光雄	
	松本信広・今宮 新・久松潜一・佐藤信彦・奥野信太郎・佐藤勝熊	
	島崎隆夫・手塚 豊	

研究調査

本文庫の研究事業の特色は、所定の研究主題に基づいて、その図書資料を蒐集すると共に、その課題に關する全国に現存する諸善本を博搜して実地調査をなしマイクロフィルムによつてその副本を作製し、それ等を一堂に会して、比較対校しながら諸本の伝流を明かにし、そのテキストを類別し、解題目録の編纂、校訂翻刻、その基礎に立つ考証研究に進み、常に蒐書、その基礎整理、調査研究を平行一貫せしめる方針にある。第一期研究調査、副本作製計画の題目は、

(1) 我が国古典に關する室町以前成立の注釈書並に室町物語類

(担当者 文庫長・松本隆信・平沢五郎)

(2) 室町以前の日本漢学資料

(A) 邦人撰述漢詩文集類

(B) 邦人撰述漢籍注釈書類

(C) 日本現存漢籍古写本の総合的研究 (担当者 阿部隆一・太田次男)

以上の課題は、日本文化史の背景をなす

領域でありながら、その資料は刊本に乏しく、稀少の古写本として伝存されるため、研究上最も未開拓に属する。本年度に於ては、以上の(1)室町物語類(松本隆信担当)、(2)の(B)邦人撰述漢籍注釈書類(阿部隆一担当)については、副本作製並に第一次の調査をほぼ終え、来年度より校訂繙刻・研究論考の編纂公表に主力を注ぐ段階に入った。(1)に附属する「橘守部の著作の基礎的研究——自筆稿本より見たる——」(文庫長・松本隆信・平沢五郎担当)については、昭和卅六年度前期の慶応義塾学事振興資金の補助を得、本文庫蔵本以外の自筆稿本類の調査並に複写を行った。

来年度に於ては、今年度の継続、特に(1)については、古今集に関する注釈書類(2)に関しては、(C)のうち論語・孝経類の副本作製研究調査に重きを置き、且つ文庫員全員の協同輪読に「遊仙窟」を選びその本文校勘と国語学的研究を行い、隔月に研究発表会を催す予定である。

文庫員が本文庫研究題目に関し、本誌

以外に公表せる論考は次の通り。

阿部隆一 室町時代邦人撰述孝経注釈書類考(大倉山論集「八輯」) 天理図書館蔵室町時代邦人撰述漢籍注釈書類について(「ピブリア」十六号) 大東急記念文庫蔵室町時代邦人撰述漢籍注釈書類について(「かがみ」四号) 東福寺蔵笑雲清三自筆稿本「四河入海」万里自筆跋文清三書入「帳中香」外(「文獻」四号)

松本隆信 室町物語五(「古典文庫」横山重氏と共編) 本館新収赤木文庫旧蔵室町時代物語類(「慶応義塾図書館月報」六五・六七・六八・七一・七十二号)

図書・文献複写

旧斯道文庫旧蔵本の外に、諸氏の篤志による多数の図書の寄贈を受け、購入本と併せ、三月一日現在その整理を完了し、登録せるもの、定期刊行物を除き、一〇三八部四二八七冊。うち寄贈書は八五〇部三八五四冊。主な寄贈者の芳名を左に録して、感謝の意を表する。

松永安左衛門殿 平岡好道殿 安川寛殿 故名取和作殿 天理図書館殿 内閣文庫殿 大東急記念文庫殿

昭和卅六年度文部省私立大学研究設備助成金により、論語古鈔本類(安田文庫旧蔵本を中心とする論語集解・論語義疏)十三部四十六冊(二百四十二万三千元)を購入。特に四書類の蒐蔵に富む本文庫蔵書の充実を計ることを得た。

マイクロフィルムによる副本作製は、前記の研究計画の課題に関する各文庫所蔵貴重本について、その全巻を撮影せる現蔵量は、三月一日現在整理登録を完了せる被撮影本によつて数えれば、九一一部二四五一冊に上り、百呎マイクロフィルム約二一〇本、十六万コマに達した。

この撮影については、本文庫の事業の趣旨に賛意を表され、貴重なる御所蔵本の複写を許可された所蔵者各位の厚意によるもので、その主な芳名を録して、感謝の意を表する。

米沢市立図書館殿 日光輪王寺殿 足利学校遺蹟図書館殿 国立国会図書館

支部上野図書館殿 内閣文庫殿 大東
急記念文庫殿 東洋文庫殿 無窮会殿
東京教育大学附属図書館殿 東京国立
博物館殿 前田家尊経閣文庫殿 西尾
市立岩瀬文庫殿 刈谷図書館殿 蓬左
文庫殿 横山氏赤木文庫殿 神宮文庫
殿 叡山文庫殿 石山寺殿 京都大学
附属図書館殿 京都府立図書館殿 建
仁寺兩足院殿 東福寺殿 東福寺靈雲
院殿 相国寺慈照院殿 南禅寺天授庵
殿 仁和寺殿 醍醐寺殿 知恩院殿
三千院殿 高山寺殿 上賀茂神社殿
陽明文庫殿 京都国立博物館殿 中野
莊次殿 大和文華館殿 戸川浜男殿
天理図書館殿 九州大学附属図書館殿

調査出張

前記の研究課題に関する諸本の調査並
に図書撮影は、東京都並に近傍は、上野
図書館、内閣文庫、尊経閣、無窮会、静
嘉堂文庫、東京大学、実践女子大学、東
洋文庫、書陵部、早稲田大学、大東急記
念文庫、東京教育大学、国学院大学、学
習院大学等を始め、各方面に活発に行つ

たが、主な地方出張をあげれば、

三月廿五日至四月七日 愛知県岩瀬文
庫、同刈谷図書館、三重県神宮文庫、
奈良県天理図書館、京都大学蔵本調査
並復写 松本芳夫 阿部隆一 太田次
男 松本隆信 平沢五郎

五月卅日至六月二日 足利学校遺蹟図
書館蔵本調査並復写 阿部隆一 井上
善一朗

九月十一日至廿二日 陽明文庫・仁和
寺・京都国立博物館・建仁寺兩足院・
大和文華館・京都大学・天理図書館・
大谷大学・竜谷大学・二尊院・下谷静
市氏・堂本印象氏・中野莊次氏・清水
泰氏蔵本調査並復写 阿部隆一 松本
隆信 平沢五郎 井上善一朗

十月十二・十三日 日光山輪王寺慈眼
堂海蔵本調査並復写 阿部隆一

十二月十三日至十八日 醍醐寺・三千
院・仁和寺・上賀茂神社蔵本調査並復
写 阿部隆一

刊行事業

四月一日「慶応義塾大学斯道文庫案内」

の小冊子を印刷、塾長・文庫長の創設の
挨拶状を添え、各方面に送付。

文庫員の研究成果発表の機関誌として
毎年一回以上、「斯道文庫論集」の発行
に決定。第一輯を三月十日刊行。

本文庫の書誌書目類の編纂については
「斯道文庫書誌叢刊」の叢書名の下に今
後刊行の予定である。其の第一として、
「江戸時代書林出版書籍目録集成」を刊
行する。此は江戸時代寛文より享和に至
る間に、書林が編輯して、当代の刊行物
を網羅した「書籍目録」類現存廿三種を
オフセット版を以て縮少影印に附し、最
後に書名総索引を附する。これ等書目の
殆どは現今では稀本の一つで、従来必備
の参考図書でありながら、座右に備えて
縦横に活用することを許されなかつたも
のである。上・中・下三巻に分ち、東京
・井上書房発行。本年六月初旬発売予定
である。日本並に東洋の古典に関する校
訂翻刻はその編集を進めつつあり、来年
度より「斯道文庫東洋古典叢刊」の叢書
名の下に刊行の予定である。